医療法人社団 唱和会

明野中央病院

2010年度

事業報告書 vol.4

（2010年4月～2011年3月）

当院マスコットキャラクター「ふくろう」

ご　挨　拶

院長　木下　昭生

３月１１日、東日本をおそったマグニチュード 9.0 という大震災と津波は、２万人を超す死者、行方不明者を含め、多くの被災者を生み、さらに福島第一原発事故を引き起こすというまさに“想定外の出来事”の連続でした。それに伴う電力不足や工場被災による物品不足は被災地東北地方のみならず、日本中に大きく影響を与え、まさしく国難というべき状況をもたらしました。尊い命を失われた方々のご冥福をお祈り申しあげるとともに、被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈念してやみません。

さて、当院は、6 年前初めて財団法人日本医療機能評価機構によって行われた審査により、病院機能評価Ｖｅｒ．４の認定を受けました。昨年は、5 年毎の認定更新の年であり、病院一丸となり準備にあたり、2010 年 9 月末に 4 人のサーベイヤーによる厳しい審査を受け、12 月に病院機能評価Ｖｅｒ．６の認定書を受け取ることができました。前回の受審にも増して高度な内容が要求されましたが、明野中央病院が求められているものは何か、地域の皆様に当院ができることは何かという、大切な基本命題について病院職員全員が考え直す良い機会だったと思います。今後とも、更に患者さんの生活の質をみつめ、職員がひとつになり努力を重ねていきたいと思います。

２０１０年度事業報告書ができあがりました。当院の概況がわかるように工夫したつもりです。ご一読していただければ幸いです。

病院理念

医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

一．家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
一．地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
一．患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
一．たえず医療・介護の質の向上に努めます
一．地域の健康増進・病気の予防に努めます

医療法人社団唱和会　明野中央病院

目　次

地域交流会（ふくろうの会）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
ボランティアの会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

病院機能評価受審を振り返って　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
病院沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
病院概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
職種別職員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
設備の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
年間行事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
花日記　～２階ウッドデッキから～　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
今昔写真館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

部門報告
　＜医療安全管理室＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

　＜地域医療連携室＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

　＜こつ・かんせつ・リウマチセンター＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

　＜診療部＞
　　内科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７
　　消化器内科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９
　　整形外科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
　　麻酔科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
　　診療情報管理室　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

　＜医療技術部＞
　　薬剤科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６
　　栄養科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
　　リハビリテーション科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
　　放射線科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３
　　臨床検査科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４
　　輸血科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８

＜看護部＞
看護部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
外来 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５１
２階病棟 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５２
３階病棟 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５５
手術室 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７

＜事務部＞
事務部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６０
医療事務課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６２
情報システム管理課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４

当院にある気になる樹・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６５

委員会報告
＜委員会＞
医療事故防止委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６８
感染対策委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７０
褥瘡・栄養対策委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７２
サービス向上委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７４
教育委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７５

＜その他＞
NST（栄養サポートチーム） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７６
糖尿病相談会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７８
親和会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７９

ニュースリリース ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８０

新入職員　１年を振り返って ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８３
入職２０年を振り返って ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８５
入職１０年を振り返って ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８６
入職　５年を振り返って ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８８
中学生１日看護師体験 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９１

地域交流会（ふくろうの会）

１．設立目的

当院は病院理念に、医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努めるを掲げ、地域の皆様から安心信頼される病院作りを目指し日々努めております。さらに今後も真に地域に根ざした医療機関として皆様方の期待に応えられる病院としてあるべき姿を模索しております。

そこで、広く地域の皆様方と意見交換を行い、医療全般に関する苦情、要望、地域の病院として当院の果たす役割等についてご意見を聞きたく設立しました。

２００４年９月発会。

２．メンバー　２０１０年４月現在（敬称略）

古川　慶吾　（ふくろうの会会長）
湯田　国男　（明野さつき町自治会長）
首藤　和也　（明野東町自治会長）
長尾　正晴　（当院 OB 代表）
中山　満　（明野日の出町自治会長）
松永　洋平　（明野高尾自治会長）
四井　昇　（患者代表）

第１２回 明野中央病院・地域交流会（ふくろうの会）

2010年12月13日(月)12：30～13：30

１．院長あいさつ
２．昼　　食　　・検食アンケート実施　〔メニューの紹介；中村管理栄養士〕
３．食中毒事故報告　〔森麻酔科部長〕
４．手術報告　〔中村副院長〕
５．病院機能評価合格報告　９月２８日、２９日受審
６．研修施設認定
　日本リハビリテーション医学会研修施設
　日本静脈経腸栄養学会ＮＳＴ稼働施設
　日本高血圧学会　高血圧認定研修施設
　日本リウマチ学会教育施設
７．当院の近況報告

中学生職場体験	９月１５日～１７日・７月６日～８日
明野中央病院健康セミナー　“骨と関節とリウマチの話”	１０月１２日
ガーデンティーパーティ	１０月３０日・５月１４日
防災訓練	１１月１３日・５月２７日
クリスマス会	１２月　５日
新春明野寄席	１月３０日
中学生１日看護師体験	５月　８日
第２３回　糖尿病相談会	６月１２日
吉田寛講演会	６月１９日
学会発表　大分県病院学会	１０月１２日

８．患者満足度調査結果報告
９．「ご意見箱」より
１０．当院で亡くなられた方の報告
１１．意見交換
１２．古川会長あいさつ

※出席者（順不同・敬称略）

古川　慶吾	（ふくろうの会会長）	中山　満	（明野日の出町自治会長）
湯田　国男	（明野さつき町自治会長）	首藤　和也	（明野東町自治会長）
四井　昇	（患者代表）	長尾　正晴	（当院OB代表）

※当院出席者
　木下院長、中村副院長、藤川センター長、森麻酔科部長、鈴木看護部長
　里谷事務長、安部総務課長、佐藤地域連携室室長

外来の廊下

明野中央病院　今昔写真館

増改築前

平成 23 年現在

増改築前の外来の様子です。狭い廊下と暗い電気が当時の作りを感じさせます。

写真右手前側が手術室になっており、平成１１年に現在の手術室が完成するまでは１階で手術が行われていました。

平成 9 年に行われた増改築に伴い現在の姿に形を変えましたが、柱の位置などは当時と同じまま、写真手前側が放射線室、外来診察室があった写真奥側はロビー（患者待合い室）になっています。

ボランティアの会

1．メンバー　２００９年４月現在（敬称略）

会　長　志水　篤信

副会長	赤田　久代	田代　千枝	磯部　都喜美
	加来　邦子	倉住　れい子	小柳　巴
	佐藤　邦子	高平　潤子	立矢　一美
	高木　美和	三宮　麗子	石田　洋子

2．活動内容

・グリーンボランティア　・各種イベント企画　・クリスマス会

・ガーデンティーパーティ　・講演会手伝い等

花壇の植え替え

ガーデンティーパーティー

クリスマス会

病院機能評価受審を振り返って

臨床検査科　永沼　美央

2010年9月28～29日に(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価ver.6.0を受審しました。
準備は1年以上前から少しずつ取り掛かっていましたが、本格的な取り組みは1年前くらいからでした。

病院機能評価委員会を立ち上げ、まずは各部門ごとに現段階で何が不足しているかの確認から始まりました。検査科・輸血科の話を取り上げると、第一に挙げられるのが「マニュアル不足」です。
作成しなければならないマニュアルは「業務マニュアル」と「検査手順マニュアル」の2種類ありました。
検査科同様、全部署がマニュアルの準備に時間をかけたのではないでしょうか。
検査手順マニュアルに関しては、すでに新入職員用に作成していたので、それを改訂をする程度で良かったのですが、業務マニュアルに関しては現状の業務に照らし、大幅な変更に取り組みました。
毎日、当り前のように行っている作業（例えば、室内の湿度・温度の確認や冷蔵庫の温度点検、作業日誌を書く事など）のマニュアルは作成していませんでした。
“敢えてマニュアルを作る程の作業ではない”と思っているところがあったのです。
「自分達にとって当り前かもしれないけれど、他の人にとっては当り前ではない。全ての作業にはマニュアルがあるはず。そして、昨日入社した新入職員がこれを見れば業務開始から終了までたった1人で行えるという様な内容にしなければならない。それがマニュアルというもの。」と、何度も何度も言われたのを覚えています。

マニュアル作りで大切なことは「他部署ときちんと連携しているか」ということです。
業務の中では必ず他部署との関わりがあります。各部署各々で立派なマニュアルを作っていても肝心な他部署と繋がるところで内容が一致していなければマニュアルとは言えません。例えば、輸血のマニュアルは看護部や薬剤部と話し合い、情報を交換し合いながら作成しました。1つの業務を行う中で、準備から施行後までに看護部や薬剤科、検査科がこのような形で関わっているのだと思うと同時に、これが“チーム医療”なんだと改めて思いました。このマニュアル作りをはじめとする機能評価受審の準備を通して部署間のチームワークがさらに良くなったのではないでしょうか。
この他、検査科としては検査環境の整備や院内感染状況の報告、輸血管理委員会など様々な準備を行ってきました。
そして、2011年12月。無事に病院機能評価vre.6の認定をもらうことができました。

当院で働き始めて2年足らずの私が検査科を代表して準備に関わる事が決まった時、とても不安でした。何の準備から取り掛かって良いのか右も左も分からない中、各部署長をはじめとする多くの方々に助けていただきました。とても感謝しています。
今回の貴重な経験を活かし、私自身の成長と共に、より臨床に求められる検査科を作っていきたいと思います。

認定証
Certificate of Accreditation
認定番号JC702-29
医療法人社団明和会　明野中央病院　殿
日本医療機能評価機構

病院沿革

１９７４（昭４９）年	１月	医療法人社団恵愛会　大分中村病院の分院として開院。（病床数６５床）
		同時に『救急指定病院』『労災指定病院』の指定取得
１９７８（昭５３）年	１１月	『医療法人社団唱和会　明野中央病院』として、分離独立
１９９７（平　９）年	３月	社団法人日本整形外科学会認定医制度による『研修施設』認定取得
１９９９（平１１）年	５月	第一期増築工事完成（病床数７０床）
		バイオクリーンルーム設置（手術室）
		ヘリカルＣＴ設置
同　年	７月	身体障害者福祉法第１９条の２の規定による『更正医療を担当する医療機関』の指定取得
２００２（平１４）年	６月	第二期増築工事完成（病床数７５床に増床）
同　年	７月	「居宅介護支援事業所」を開設
		MRI 設置
同　年	９月	パワーリハビリテーション機器導入
２００４（平１６）年	１月	一般病床４５床、特殊疾患療養病棟（Ⅱ）（３０床）
同　年	３月	『臨床研修病院』指定取得（厚生労働大臣指定）
２００５（平１７）年	９月	一般病床のうち、８床を『亜急性期入院医療管理料』として届け出
同　年	１０月	（財）日本医療機能評価機構　認定病院を取得
２００６（平１８）年	４月	『亜急性期入院医療管理料』を８床から１０床に増床
		院外処方箋発行開始
同　年	８月	『訪問看護ステーション・ふくろう』開設
同　年	９月	マルチスライスＣＴ設置
２００７（平１９）年	２月	特殊疾患療養病棟（Ⅱ）（３０床）を回復期リハビリテーション病棟に変更
２００８（平２０）年	１月	社団法人日本手の外科学会認定医制度による『基幹研修施設』認定取得
２００８（平２０）年	１０月	回復期リハビリテーション病棟入院料１（重症患者回復病棟加算）
２００９（平２１）年	７月	『こつ・かんせつ・リウマチセンター』開設
２００９（平２１）年	１１月	社団法人日本リハビリテーション医学会による『研修施設』認定取得
２０１０（平２２）年	４月	『日本高血圧学会　高血圧認定研修施設』に認定
		『日本静脈経腸栄養学会　ＮＳＴ稼働施設』に認定
２０１０（平２２）年	９月	『日本リウマチ学会教育施設』に認定

病院概要（２０１１年３月現在）

許可病床	一般病床　７５床
標榜科目	内科／整形外科／リウマチ科／消化器内科 形成外科／リハビリテーション科／麻酔科（森正和）
専門外来	禁煙外来
主な施設基準	７：１入院基本料 回復期リハビリテーション病棟入院基本料Ⅰ 亜急性期入院医療管理料Ⅰ 脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
研修施設	日本整形外科学会研修施設 日本手外科学会研修施設 日本リハビリテーション医学会研修施設 日本高血圧学会研修施設 日本リウマチ学会教育施設
主な施設	一般病床　４５床（亜急性期病床１０床を含む） 回復期リハビリテーション病棟　３０床 リハビリテーションセンター（作業療法室・理学療法室・言語療法室）
学会認定 専門医・指導医	日本内科学会　専門医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医 日本整形外科学会　専門医 日本脊椎脊髄病学会　指導医 日本手外科学会　専門医 日本リハビリテーション医学会　指導医　専門医 日本リウマチ学会　指導医　専門医 日本消化器病学会　専門医 日本消化器内視鏡学会　専門医 日本神経学会　専門医 日本麻酔科学会　専門医 日本集中治療医学会　専門医

職種別職員数

１３６名　　（２０１１年３月３１日現在）

医　　師	８名	診療放射線技師	３名
薬　剤　師	２名	臨床検査技師	３名
看　護　師	４６名	管理栄養士	１名
准 看 護 師	１５名	栄　養　士	１名
看護業務補助者	１６名	医療ソーシャルワーカー	２名
理学療法士	９名	事務職員	１６名
作業療法士	６名	調理員	７名
言語聴覚士	１名		

設備の概要

電気設備	受電電圧　６，６００W 契約電圧　２３０kW 負荷設備　負荷合計　７００kW 動　　力　３００kW 電　　灯　２５０kW 放射線　　１５０kW
発電設備	１号機　３相　２２０V　１１５kW 対象負荷（消火ポンプ　手術室照明　診察室　ナースセンター 各階非常用コンセント）
空調設備	電気ヒートポンプエアコン　GE ビル用マルチエアコン　三菱・ダイキン
昇降設備	エレベーター　　２基 ダムウェーター　１基
蒸気設備	給湯ボイラー　シンクロヒーター　１００，０００Kcal／H
防災設備	屋内消火ポンプ　５．５kW×１ P型１級受信機複合盤

組織図

２０１１年3月３１日

年間行事

２０１０年　４月　○新入職員歓迎会（ワシントンホテル２階　チャイナテーブルにて）

５月　○救命救急研修
○中学生１日看護師体験
○第６回　ガーデンティーパーティ
○防災訓練

救命救急研修

中学生１日看護師体験

防災訓練

６月　○医療安全管理研修会
　　○第２３回　糖尿病相談会
　　○第４回　吉田寛氏講演会
　　○第５回　ボーリング大会

糖尿病相談会

吉田寛氏講演会

７月　○明野中学校職場体験
　　○大東中学校職場体験
　　○院内研究発表会

中学生職場体験

８月　○院内慰霊祭を実施

９月　○院内感染対策研修会
　　○病院機能評価本審査

病院機能評価本審査

１０月　○職員親睦会
　　○ＮＳＴ（栄養サポートチーム）勉強会

１１月　○第２４回　糖尿病相談会
　　○食品衛生管理研修会
　　○医療機器安全管理研修会
　　○大分県病院学会
　　○秋の防災訓練

大分県病院学会

秋の防災訓練

１２月　○院内クリスマス会
　　○ふくろうの会
　　○病院忘年会

院内クリスマス会

２０１１年　１月　○新春明野寄席
　　○接遇・個人情報保護研修会

新春明野寄席

２月　○医療倫理研修会

３月　○第２５回　糖尿病相談会
　　○病院職員総会

雛飾り（外来待合いにて）

花日記　～２階ウッドデッキから～

２階のウッドデッキにはボランティアの方々が育てた四季折々の花が咲いています。
傍らの「花日記」には多くの書き込みが・・・

はじめての病院でした。膝痛でしたが歩けるようになり一番にこのお花を見にきました。狭い所に色とりどりに美しく咲いて心和ませて頂きました。
私も一通り植えたことのあるものばかりでしたが、何種か名前を知らない花があり一寸残念でした。名前を書いておいてくれたらうれしく思います。
ボランティアの皆様これからもよろしく美しい花を咲かせて下さい。

小生、入院生活２週間、本日退院です。その間、中庭の草花には大変心を癒されました。今日も朝顔がとてもきれいです。
また、お医者さん・看護師さんみなさんの優しい心遣いが心を癒され楽しい入院生活でした。ありがとうございました。
ボランティアの皆様観葉植物の手入れ頑張って下さい。

母のお見舞いに来ました。花壇とても奇麗です。私だったらすぐ枯らしてしまうでしょう。本当にすごいと思います。

花がきれいに咲いていました。もう少し暖かくなるといっぱい花が咲くでしょうね。楽しみです。

梅雨明け、ベランダの花さん達のお手入れも大変と思います。ボランティアが出来る心の余裕、時間の余裕、うらやましいです。患者さまの気持ちに病気の回復に、とてもプラスになると思います。これからも四季折々のやさしい花々を咲かせて下さい。

初めて中央病院に寄せてもらい、少しのやさしさを頂きました。ありがとうございます。

ウッドデッキの花壇のユリがきれいです。空を見上げると大銀ドームより北西の方に大きな虹がとてもきれいでした。久しぶりに見ました。

今日もさわやかな一日になりそうです。

病院の建設

明野中央病院　今昔写真館

明野中央病院の開院

昭和３９年に大分県が新産業都市に指定され、新日鐵を中心に九州石油や共同火力など国内有数の大企業が大分にやってきました。そこでこの明野が開拓され各企業の方々の住居として団地村ができました。

しかし、当時の明野には１件の病院もなく大分県知事であった立木勝（たきまさる）知事が大分中村病院長であった中村裕（なかむらゆたか）に明野地区への開院を依頼したのが本院の始まりです。

昭和４７年頃にはトキハインダストリー内（現在のあけのアクロスタウン）に診療所が設けられ、その後昭和４９年１月より現在の建物が完成し現在に至っています。

平成 23 年現在

昭和 48 年　建設時写真

昭和 49 年

野中公園より見る病院

昭和 49 年頃

平成 9 年頃

野中公園より見る病院

病院前の『野中公園』は昭和５０年に完成しました。開院当初の昭和４９年の写真ではまだ空き地になっています。

その後、公園も整備され平成９年の写真では緑の芝生の綺麗な公園が写っています。この頃には屋上の看板も古い物から立て替えられており、『明野中央病院』と書いた三角の看板から『中央病院』と書かれた現在の四角の看板へ変更されているのがわかります。

現在では公園も緑の芝生ではなく砂地のグラウンドとなり地域の方のスポーツやレクレーションを行う場としてにぎわっています。

平成 23 年現在

病院前の庭園

現在の第１駐車場（正面玄関前）は緑豊かな庭として患者さん達の憩いの場となっていました。

しかし、来院する患者さんとそれに伴う車の増加から惜しまれつつ平成９年に工事が行われ駐車場へ姿を変えました。

現在でも当時からあるフェニックスの木が来院する患者さんを出迎えています。

平成９年頃

平成 23 年現在

平成９年頃

外来の廊下

明野中央病院　今昔写真館

増改築前

平成 23 年現在

増改築前の外来の様子です。狭い廊下と暗い電気が当時の作りを感じさせます。

写真右手前側が手術室になっており、平成１１年に現在の手術室が完成するまでは１階で手術が行われていました。

平成 9 年に行われた増改築に伴い現在の姿に形を変えましたが、柱の位置などは当時と同じまま、写真手前側が放射線室、外来診察室があった写真奥側はロビー（患者待合い室）になっています。